

【加盟団体紹介】

神奈川県体操協会

神奈川県体操協会は、昭和21年、会長に下津屋俊夫氏を迎えて創設されました。平成28年には70周年を迎え、平成29年3月に記念式典・祝賀会を開催し、記念誌も発行します。

本会は神奈川の体操界を統括し、体操の普及・発展を図るとともに、県民の心身の健全な発達に寄与し地域社会に貢献することを目的に運営されております。この目的を達成するために次の事業を行っています。

1. 各種競技会・講習会・スポーツイベント等の開催・運営及び協力
2. 国民体育大会等への代表者の選考と派遣
3. 選手の強化および、体操の普及・奨励
4. 指導者ならびに審判員の養成と派遣
5. 体操に関する研究・記録の収集と広報
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

本会の加盟団体には、川崎・横浜・横須賀・相模原・藤沢・平塚の6つの地域協会、体力づくり体操・体操ジュニア・新体操クラブ・大学・トランポリンの5つの連盟、高体連・中体連体操競技・中体連新体操の3つの専門部があります。それぞれの団体から評議員、並びに理事が選出され、会が運営されています。そして、それぞれの団体に所属する指導者、選手等が日本体操協会、本会に加盟登録して活動しています。

また、本会には、加盟登録・記録・広報・主催大会運営を行う「総務部」、競技力向上を図る「強化部」、各種大会の審判業務・審判派遣・審判講習会等を行う「審判部」、小中学生への体操を普及する「普及部」、本会役職員及び加盟団体の綱紀粛正を推進することを目的とする「倫理委員会」、資金調達方法や運営等に携わる「財務委員会」の2つの委員会があります。

現在、日本体操協会への登録状況は全国の中でもトップレベルです。審判登録人数は東京に次いで第2位、全選手登録人数は第4位ですが、高校生の登録人数は全国第1位です。

また、ここ4年間の国体本大会の競技成績は、体操競技の少年男子が17位・13位・12位・11位、少年女子は7位・10位・3位・11位でした。成年はブロック枠が男子は2枠と少なく出場なし、女子は1枠とさらに少なく5位・3年間出場なしでした。少年女子新体操は7位・4位・出場なし・11位でした。

県内のジュニア選手は体操競技・新体操ともに人数も多く競技力も全国トップレベルですが、県内のトップレベルの選手が成長するにしたがって県外に出ていくことが問題と感じています。この原因は競技力の高い選手を受け入れる環境が整っていないことにあると思います。この現状を打破するために県内の競技力が高い小学生から高校生までの選手、その指導者、並びに審判部員が集まって強化練習会、合宿を行い、競技力向上をめざし、コミュニケーションを図り、県内で選手を育てる意識づくりを行っています。

今後もリオオリンピック金メダリストの鶴見ジュニア体操クラブ出身の白井健三選手、同じくオリンピック補欠選手のとらい体操クラブ所属の河崎真理菜選手(高2)の様な選手が数多く育つように、神奈川県体操協会を構成するメンバーがそれぞれの立場で活躍し、神奈川県体操界がますます発展しますように努力してまいります。今後とも皆様のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



【加盟団体紹介】

二宮町体育協会

会長 室伏正昭

二宮町は、相模湾に面する県西に位置し、箱根連山・富士山・丹沢山系を望み、吾妻山の早咲きの菜の花が楽しめる人口2万8千人の温暖な町です。

本協会は、二宮町教育委員会に事務所を置き、22団体1,900名の会員で構成されています。

顧みますと、昭和27年に野球、陸上、レクリエーション、剣道、弓道等の団体が主体となり、体育協会創設の運びとなりました。

昭和50年には当時の町長の依頼により各団体が協会制となり新体育協会として体制が確立していく中で、武道館、体育館、山西プール、温水プール、運動場等の町立運動施設が造られ、充実した活動の場として幅広く利用できるようになりました。

平成10年から二宮町主催の湘南ビーチマラソンが梅沢海岸で開催され、体育協会も役員として協力し、二宮町を全国にアピールすることとなりましたが残念ながら自然災害のため砂浜が無くなり第8回大会を最後にピリオドとなりました。

平成16年アテネオリンピックでは、自転車競技の鈴木真理氏が二宮町初のオリンピック代表選手として参加いたしました。

市町村対抗かながわ駅伝ではこれまで成績が低迷していましたが、ここ2大会では町村の部で優勝を成し遂げることが出来、さらなる連覇を目指して頑張っています。

最近の主な事業としては協会会員相互のスポーツ交流会、他市町村体育協会理事交流会、スポーツフェスティバル等を開催し、他方、主管事業である町民体育祭、町内一周継走大会、体育協会傘下団体活動の後援等、諸事業を実施しています。また日常生活やスポーツ活動中の不測の事態に備えるために普通救命講習を開催し、資格保有者を増やす活動にも取り組んでいます。

二宮町の人口が減少する中、保健センターの協力を得てスポーツフェスティバルを開催し、体力測定、健康相談、体験スポーツ教室等を行っています。同時に昨今の若年層の体力の低下、スポーツ離れに歯止めを掛けるべく各競技団体の体験教室、ニュースポーツ講習を開催する等、広報活動にも力を入れ競技人口の増加、若手アスリートの育成を行っています。

また行政と協力し、町民の健康寿命の伸長を目指すと共に楽しく活動できる生涯スポーツ活動を推進しています。



(吾妻山より富士を望む)



(二宮町民体育祭)



(町内一周継走大会)



(普通救命講習)